

CONTENTS

- 会長挨拶
「より高いレジリエンスが求められる時代」
会長 新田 耕司(摂大平成2年卒)
- 学科長挨拶
「新型コロナ感染リスク下における
都市環境工学科教育現場の状況」
都市環境工学科 教授 福島 徹
- 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」
(一級建築士受験資格)認定条件
- 総会報告
- 総会案内
- 役員名簿
- [摂南大学土木会] 令和元年度 決算書・令和2年度予算書(案)
- 研究室だより
- 準会員案内
- 教室だより
- 令和2年度就職状況
- 私の近況報告
- 卒業生特集
貢献する土木技術
- 同窓会報告
- 技術士会だより
- 事務スタッフ紹介
- 寄付いただいた方
- 会員の声
- 在学生特集
テーマ「大学で挑戦したいこと」

寝屋川キャンパスに新グラウンド



- 用紙:適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷



より高いレジリエンスが求められる時代

会長 新田 耕司（撰大平成29年卒）中央復建コンサルタンツ株式会社



毎年のように激甚災害として指定される自然災害が起こり、恒例になりつつあるお見舞いの言葉から始まる私の挨拶が不本意でした。今年も令和2年7月豪雨がありましたが、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に触れないわけにはいきません。自然災害だけでなく病による禍が社会情勢、私たちの暮らしに大きな影響を与えています。

新常態(ニューノーマル)による生活様式を通して様々なことに気付かされている方は少なくないはず。外出する機会が減る一方で、インターネットによるやり取りが増えました。今年の本学土木会の役員会・評議員会は全てオンライン会議でした。学校の授業もオンラインで始まり、学生とのコミュニケーションはしばらくの間チャットでした。お客様との初めての打合せまでオンライン会議になり、画面越しに「初めまして」と言い合う始末です。今年の土木学会全国大会もオンライン形式となり、私がパネリストの一人として参加した研究討論会がYouTubeで配信されました。戸惑う

ばかりのニューノーマルな毎日です。

インターネットなどによるコミュニケーションが活発化し、移動時間の削減、在宅勤務やワーケーションなどのテレワークの実現、など転禍為福のごとくコロナ禍を多様な働き方に弾みをつけるためのニューノーマル化が加速的に進んでいます。多様な働き方が選択できることで生産性を向上させられるのか？ポストコロナ時代のコミュニケーションはどうあるべきか？最も重要なインフラは通信関連施設なのか？様々な厄災に対処できるレジリエントな国土形成のために何をしなければならいいのか？私はこの半年間働き方や生産性、これからの土木技術者やインフラのあり方について改めて考えさせられています。コロナ禍により様々な課題が浮き彫りになり、今まで以上に持続可能性を高めるレジリエンスを意識することにになりました。個人、組織がレジリエンスを高め、保持し続けることにより、社会全体が様々な変化に柔軟に対応できるようになるはず。本学土木会がレジリエントな組織であり続けられますよう今まで以上の皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルス感染リスク下における都市環境工学科教育現場の状況

都市環境工学科 教授 福島徹



撰南大学土木会会員の皆様には平素より本学科の運営にご支援助とご協力を賜り、厚く御礼申

申し上げます。本年度4月より学科長を拝命致しました。3年前に本学に着任してようやく少く大学の状況や学科の教育などにも慣れてきたところで、まだまだ様子のわからないところも多く、心許ないところではありますが、それまでの国立、公立いずれもほぼ20年間の異なる大学での経験も生かして本学科の発展に少しでもお役に立てればと考えておりますので、何卒よろしくお願ひ致します。

さて、感染拡大の脅威で世界を震撼させている新型コロナウイルスの影響は本学、本学科でも昨年度末より始まり、後期試験は無事終わりましたが対面での成績表交付の中止に始まり、3月初旬に実施の準備を進めていました学科の企業説明会、さらには学位記授与式、新年度に入り入学式やその関連イベントとほとんど

の行事が中止のやむなきとなりました。大学は4月8日に前期授業は5月25日から原則非対面の遠隔授業方式で実施すると決められました。そして授業開始に向けてさまざまな準備が始められたわけですが、学生へのアナウンスやガイダンスはもっぱらインターネットを通じて行わ

れ、特に新入生は対面でのオリエンテーションもなく不安な日々送ることとなりました。

授業はICTツールによる非対面型授業ということで、先生方はこれまでの授業内容を見直され、少しでも分かりやすく理解が深められるような教材づくりに取り組まれました。多くはパワーポイント教材にナレーションを入れて動画として配置し、それを視聴する方式で行われました。この方式は学生にとって分からないところを繰り返し聴けることや、毎回理解の確認のために課題を出された先生も多く、それが復習を兼ね、返って理解は深まったのではと私自身は感じています。しかし、学生同士の密な接触を避けざるを得ないこの状況は、チームワークで取り組むことにより得られる「課題解決能力」や「対人能力」を身につける場とはならず、後期において対面型での実施が認められている都市環境基礎ゼミIIなどの限られた授業においてよりその修得への工夫が求められています。

後期の授業では撰南大学土木会の皆様のご協力をいただき行っておりました現場見学会も見送りとせざるを得ないと考えておりますが、講演会はリモートでの実施を検討していただけたらとお聞きしています。学生にとりましては大変貴重な機会と考えておりますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

「都市環境システム工学科 建築士プログラム」(一級建築士受験資格)認定条件^{*1}

入学年(西暦)	入学年(平成)	学科	「建築士プログラム」認定の条件
2002	14	都市環境システム工学科	平成20年度開講の「建築製図」又は平成21年度から開講の「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する ^{*2} 。又は同等の科目を他大学で履修して単位取得する ^{*3} 。
2003	15		
2004	16		平成20年度開講の「建築製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図」(平成21年度から開講)を科目履修生として単位取得する ^{*2} 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する ^{*3} 。
2005	17		
2006	18		
2007	19		平成21年度から開講の「建築設計製図」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図」を科目履修生として単位取得する ^{*2} 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する ^{*3} 。
2008	20		
2009以降	21以降		認定されない。 ^{*4}

- ^{*1}:一級建築士受験を目指す「建築士プログラム」認定の条件です。卒業後に、建築に関して2年以上の実務経験を経て一級建築士試験の受験資格が得られます。二級建築士は、卒業後に1年以上の実務経験を経て受験できます。この場合、「建築士プログラム」認定の必要はありません。また、二級建築士合格後、4年以上の実務経験を経て一級建築士が受験できます。
- ^{*2}:卒業後に対象科目の単位修得を行った場合も実務経験の起算日は卒業時となりました。なお科目履修の手続きについては教務課にお問い合わせください。
- ^{*3}:卒業後に対象科目の単位を他大学で取得した場合でも一級建築士の受験資格が得られるようになりました。ただし、他大学で科目を修得するにあたって、受講予定の授業内容と本学の「建築設計製図Ⅰ」の内容が一致しているかどうかについては、主管庁の国土交通省、建築技術教育普及センター、本学においても事前には一切回答いたしません。申請者が一級建築士の受験申請をする際に初めて国土交通省で審査されます。
- ^{*4}:2009年度入学生(2010年度以降は都市環境工学科)からは新建築士法が適用されます。「建築士プログラム」は認定されませんが、新建築士法の規定により、指定科目の履修と所定の実務経験から二級建築士の受験資格が得られます。

令和元年度通常総会開催される

役員 小川 芳也



令和元年度の特別講演会と土木会総会が令和元年11月30日(土)午後3時より、大阪工業大学梅田キャンパスにおいて、多数の出席者の中で開催されました。

特別講演会は、摂南大学の前身である大阪工業高等専門学校を昭和42年に卒業された大島技術コンサルタント(株)の大島正樹様による「～流れに身を任せた人生を振り返って～」と題するご講演で、大島先輩が過ごされてきた人生の振り返りにおいて、私たちがこれからの人生を過ごしていくうえでの助言を多数頂戴いたしました。まことにありがとうございました。ここで心より御礼申し上げます。

総会は、新田耕司会長(摂大平成2年卒)の挨拶に始まり、田中賢太郎先生(摂大平成13年卒)の司会で、青木葉隆典氏(摂大昭和62年卒)を議長団に選出し、過年度の事業報告・決算報告および令和元年度事業計画・予算計画について審議され、それぞれ原案どおり承認されました。

総会に引き続いて、懇親パーティーを同キャンパス21階レストランテ翔において、



荻田喜代一学長先生や川野常夫副学長先生他のご臨席を賜り盛大に開催されました。ご来賓の各先生方、各卒業生会代表から土木会に対して、ご祝辞と激励のお言葉を頂戴いたしました。

会員相互の親睦を深め、終始和やかな雰囲気の中、名誉顧問で元教員でもある井上治先生の万歳三唱をもって、次回(令和3年)の再会を誓って閉会いたしました。

摂大平成14年卒業、摂大修士平成16年終了、摂大博士平成24年終了



総会案内

令和2年度通常総会を11月28日(土)に予定しています。詳細については、以下に案内を掲載いたしますので、ご参加のほど宜しくお願いいたします。

摂南大学土木会HP:<https://www.setsudokai.jp/>

イビデングリーンテックは、人と自然の共生、調和のとれた地球環境を創造する企業です。

当社は、「緑化＝グリーンビジネス」を事業の柱として、主に「法面事業」、「造園事業」、「建設事業」の3事業を展開しています。

ig イビデングリーンテック 株式会社
<http://www.ibiden-greentec.co.jp>

【本社】〒5003-0021 岐阜県大垣市河間町3-55
 TEL 0584-81-6111 FAX 0584-74-1971
 【関西支店】〒651-0072 神戸市中央区船浜町2-11-14
 (現代神戸ビル4F)
 TEL 078-291-5585 FAX 078-291-5586

inai conex
 アイナイ コネックス

鋼道路橋の補修・補強設計業務はお任せください。

正社員募集中!

インフラの再整備が進み、受注件数も増加しています。設計者としての第一歩を踏み出してみませんか?

inai conex 株式会社
 代表取締役 弓倉 啓右
 長谷川 望 (平成14年3月卒業)
 橋川 雅斗 (平成23年3月卒業)

〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1-3-10
 TEL: 06-4309-6656 FAX: 06-4309-6686
<http://www.inai-conex.co.jp/>

令和2年度 摂南大学土木会役員・評議員名簿【案】

*学内連絡係/**代表幹事/**副代表幹事/※代表評議員

名誉顧問	井上 治	同上	田中 昌明(S48)	丸山 良夫(S44)	* 平尾 雅一(S54)	※ 佐々木 剛(H04)	藤田 雄三(H19)
相談役	橋本 梯造(S42)	*** 同上	城野 和夫(S50)	上柳 清志(S45)	石橋 源三(S55)	前田 泰秀(H05)	※ 東出 唯(H20)
同上	森 俊介(S55)	同上	北村 幸定(S56)	正本 実(S45)	山口 雅明(S55)	木村 隆幸(H06)	中川 佳祐(H21)
同上	藤田 孝志(S55)	同上	延永 稔仁(S50)	奥田日出男(S46)	北村 幸定(S56)	卜部 伸一(H07)	根木 沙織(H22)
同上	新井 栄作(S60)	** 同上	中土井敬史(H7)	江原 光治(S47)	寺岡 國仁(S57)	水野 貴史(H08)	小笠原祐介(H23)
役員		同上	中村 貴則(H10)	大畠 和夫(S47)	道山 長八(S57)	吉山 昌志(H09)	赤星 健太(H24)
会長	新田 耕司(H2)	同上	坂本 圭(H10)	* 城 幸一郎(S47)	松下 正寿(S58)	手嶋 正和(H10)	植田 友徳(H25)
副会長	西川 朝彦(S48)	同上	石田 裕子	平峯 武志(S47)	木村 寿夫(S59)	山元 一平(H11)	川島 慶一(H25)
同上	青木葉隆典(S62)	同上	小川 芳也(H14)	塩沢 隆(S48)	宮川 尚三(S60)	亀井 義明(H12)	川口 雄大(H26)
常任委員	片桐 信	監査	伊藤 譲	万字 敦(S49)	岩崎 央(S61)	水島 裕幸(H12)	黒田 佳郎(H27)
同上	熊谷樹一郎	同上	眞鍋 育弘(S51)	陰山 豊秀(S50)	* 大野 幸一(S61)	高岡 栄二(H13)	中野 洋平(H28)
同上	熊野 知司	評議員	中野 昭雄(S39)	延永 稔仁(S50)	大橋 政広(S62)	福島 智行(H14)	中田 周平(H29)
* 同上	田中賢太郎(H13)		福田 富保(S40)	柴田 芳彦(S51)	高田 太(S62)	川勝 雄介(H15)	田中 達大(H30)
同上	寺本俊太郎		柴田 均(S42)	小西 隆夫(S52)	中野 茂(S63)	小山 裕貴(H15)	奥田 勝稀(H31)
同上	福島 徹		中谷 利昭(S42)	池谷 力(S53)	森 光正(H01)	藤澤 博規(H16)	藤家 凌我(H31)
同上	佐藤 大作		古川 忠彦(S43)	藤田 謙治(S54)	秋岡 宜和(H02)	亀岡 慎也(H17)	森 敬洋(R2)
同上	水野 忠雄		荒瀬美喜夫(S44)	坂上 敏彦(S54)	岡田 博志(H03)	中島 誉史(H18)	阪田 直樹(R2)

【摂南大学土木会】令和元年度 決算書・令和2年度 予算書(案)

令和元年度 決算(案) 令和元年10月1日から令和2年9月30日 ▼令和元年10月1日現在 特別積立金390万円

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	1,579,627	1,579,627	事務費等	140,000	36,325
正会員入会金(18名)	560,000	180,000	会報発行費	800,000	778,331
広告料(22社)	440,000	440,000	同窓会補助	80,000	50,000
預金利息	100	6	役員会・評議員会費	100,000	7,000
寄付金	0	167,000	総会費	400,000	431,873
雑収入	0	205,000	特別講演会(2人分)	100,000	50,000
			ホームページ制作費	650,000	622,820
			ホームページ維持管理費	120,000	22,000
			慶弔費・見舞金	70,000	10,000
			雑費	30,000	2,300
			名簿追加修正費	30,000	29,000
			予備費	59,727	531,984
合計金額	2,579,727	2,571,633	合計金額	2,579,727	2,571,633

令和2年度 予算(案) 令和2年10月1日から令和3年9月30日 ▼令和2年9月30日現在 特別積立金390万円

収入の部		支出の部	
科目	予算	科目	予算
前年度繰越金	531,984	事務費等	140,000
正会員入会金(69名)	690,000	会報発行費	800,000
広告料(22社)	440,000	同窓会補助	80,000
預金利息	100	役員会・評議員会費	100,000
		総会費	100,000
		講演会費	100,000
		ホームページ維持管理費	132,000
		慶弔費・見舞金	70,000
		雑費	30,000
		名簿追加修正費	30,000
		予備費	80,084
合計金額	1,662,084	合計金額	1,662,084

建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理

大島技術コンサルタント株式会社

本社 岡山県真庭市藤山上福田829-1
〒717-0602 ひるぜん TEL 0867-66-3673(特)
FAX 0867-66-3674
URL: http://www.ogcflight.co.jp

大阪市内より30分圏内の
緑豊かなお墓地をご案内いたします。
お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。

お墓の相談コーナー ☎0120(305075)

(株) 太田石材店

本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075

当社推奨霊園

- 総持寺霊園(茨木市)
- 陰国寺墓地(吹田市)
- 海印寺墓地(長岡京市)
- 王寺霊園(奈良県)
- 東本願寺天満別院(北区)
- 北拱雲園(豊能郡)
- 真龍寺霊園(茨木市)
- 服部徳風墓地(豊中市)
- 竜の子霊園(奈良県)
- 玉手山墓園(柏原市)
- 飯盛メモリアルパーク(四條畷市)
- 飯盛霊園(四條畷市)
- その他公営墓地

昨年から、八木俊策先生の後任として環境衛生工学研究室を担当しています。昨年度及び今年度ともにそれぞれ4名の学生さんが研究室に所属してくれています。昨年度配属の学生さんはみな、3月に無事卒業し、それぞれの思いを胸に活躍の場を新たにしました。卒業時期はすでにコロナ禍にあり、集会・会合を開ける状況ではなかったため、十分な卒業のお祝いを出来なかったことが残念でなりません。同様に、今年度配属の学生さんとは一度も会合を開けていないことも大変残念です。摂南大学着任前までは、飲み屋街の中に大学がある環境?で生活してきた身としては、意外と堪える毎日です。。こういったコミュニケーション方法の良き部分を残しつつ、新たな生活様式に適用した実施方法を考えていかなければならないのかもしれませんが。

さて、研究課題としては、上下水道、産業廃水などを対象にしたオゾン処理・促進酸化処理を扱っています。最近では、浄水オゾン処理の最適制御を目的とした

研究や、オゾン処理・促進酸化処理を核とした新たな下水処理プロセスの開発に取り組んでいます。研究方法としては、実験とともに、理論に則した数値解析を組み合わせて行っています。オゾン処理は、ガスとしてオゾンを対象とする水に注入するため、実験・解析が容易ではなく、あまり体系的に研究が進められているとは言い難い状況です。さらに、実務的には経験により、装置がそれなりにうまく運転されているため、ますます体系化しようという機運が盛り上がりません。また最近では、「下水からコロナウイルスを検出した!」というように水質分析がキャッチーなテーマとなる場合が多く、なかなか水処理技術を理論に基づいて真面目に評価しようというも受けが悪いという状況にあります。とは言え、理論的に説明できるようになることが最大の科学的エビデンスとも言えます。建学の精神にもあるように、「理論に裏づけられた」を大切に、教育・研究に邁進したいと考えています。

摂南大学土木会による準会員向け講演会の開催

2020年10月10日(土曜日)

都市環境工学科 准教授 田中 賢太郎

1人でも多くの学生に建設業界の将来を担ってもらうべく、将来の選択において業界の紹介をしたいと考え、以下に紹介する卒業生の皆様方にご協力いただきます。

ご報告は摂南大学土木会ホームページにてさせていただきます。

講師紹介:

摂南大学土木会 新田 会長(1990年卒 中央復建コンサルタンツ株式会社)

奈良県庁 能登 隆 様(1991年卒)

大鉄工業株式会社 橋本 昌也 様(1989年卒)

株式会社日本インシーク 船積 昭弘 様(2016年卒)

株式会社IHIインフラ建設 北岡 忠男 様(1984年卒)、中川 佳祐 様(2009年卒)、坂口 太一 様(2019年卒)

イビデングリーンテック株式会社 大野 幸一 様(1986年卒)、中野 誠 様(2000年卒)



まちのコントラクター
苅田建設工業株式会社

代表取締役 苅田 孝太郎

ISO9001 本 社 〒660-0087
ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号
TEL (06)6419-2981(代表)
ホームページ: <http://karitakensetu.com>
三田営業所 三田市天神1丁目2-12
TEL (079)563-0095

KAIKEN—街づくりの総合コンサルタント

【企業理念】

建設に係る技術力をもって社会に貢献すること



株式会社 **開発計画研究所**

代表取締役

井上 忍

(昭和44年3月卒業)

事務所: 東京・水戸

TEL 03-5828-6855

小田卓朗(社員) 平昌オリンピック出場

・スピードスケート 1,000m 1,500m 5位

・帰山雄太 第73回国民体育大会 優勝



教室だより

都市環境工学科 准教授 田中 賢太郎

今年度、都市環境工学科には、1年次67名(11名)、2年次78名(10名)、3年次78名(9名)、4年次70名(7名)で合計293名(37名)の学生が学んでいます。なお、括弧内の数値は女子学生を示します。大学院の社会開発工学専攻における学科出身者は、1年次5名、2年次5名です。福島 徹教授が学科長として学科運営に当たり、教職員は専任10名、非常勤30名、事務スタッフ2名の陣容で教育・研究の指導を行っています。

学科の専門科目で、都市環境基礎ゼミⅡの中で、「P-1グランプリ」というコンテスト形式の授業を展開しています。ペーパーを用いて製作する橋梁模型の強度コンテスト(構造部門)および工夫点をアピールするプレゼン審査(プレゼン部門)、意匠の優れた橋梁のデザインを投票形式で決めるデザイン部門を実施しています。2019年度 P-1グランプリは、2020年1月17日(プレゼン審査)および1月24日(強度コンテスト)に実施しました。デザイン投票は、プレゼン審査後から5日間と設定しました。その中で種々の模型で新しい発想が見られ、個性的なモデルや強度が高い模型が増えています。ただし、デザイン部門の賞を狙った模型の強度は良くなかったため、今後は強度とデザインの両立を目指すように意識していきたいと思えます。学生の様子を見ると、参加意欲も比例して上昇しているのではないかと思います。2019年度の結果は、構造部門の優勝は熊野ゼミ、準優勝は片桐ゼミ、プレゼン部門の優勝は佐藤ゼミ、準優勝は寺本ゼミ、デザイン部門の優勝は熊野ゼミ、準優勝は熊谷ゼミとなりました。



模型例(構造部門優勝)



プレゼン発表の状況



表彰式の様子

学科主催の行事として、2019年9月12日に実施した講演会および現場見学会について報告させていただきます。講演会では、1年生および3年生合同で実施し、大阪府都市整備部の方のご協力を

得て、土木系公務員の職務、土木全般の維持管理についてご講演いただきました。最後に、質疑応答の時間があり、学生たちは積極的に質問しておりました。



大阪府都市整備部 ご講演

現場見学会は、1年生は2箇所(①人と防災未来センター、②琵琶湖疏水記念館)に、3年生は3箇所(①千里浄水池更新工事(新2号池)、②NEXCO総研緑化技術センター、③JR東海道支線地下化・新駅設置事業)にわかれて現場を見学しました。参加した学生は、建設現場の魅力や土木技術者の役割を肌で感じているようでした。また、摂土会を通じて、JR東海道支線地下化・新駅設置事業(案内:西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 施設課 土木協議 中土井敬史様)の見学先をご紹介いただきました。この紙面をお借りして、心より厚くお礼申し上げます。

コロナ禍において、2020年3月の学位記授与式後に予定しておりました卒業祝賀会(摂南大学土木会主催)ですが、2019

年度卒業式および学科による学位記授与式が中止になったことに伴い中止になりました。学位記授与式にて授与している卒業研究優秀賞は、該当学生に向けて、卒業研究優秀賞建設部門1名、環境部門1名に表彰させていただきました。この紙面をお借りしませてご報告とさせていただきます。令和2年3月卒業生の皆様方、新しいステージでのご活躍を期待しています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



JR東海道支線地下化・新駅設置事業(3年生)



人と防災未来センター(1年生)



琵琶湖疏水記念館(1年生)

Japan Asia Group

国際航業

地理空間情報技術を活用し、安心で安全、そして持続可能なまちづくりを先導します。



国際航業株式会社 西日本支社 関西事業所
〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町 1-1-15
TEL:06-6487-1111 <http://www.kkc.co.jp/>

コンクリートで+αの可能性を広げる



環境を創造する
Potential of Concrete

ケイコン株式会社

プレキャストコンクリート製品
開発・設計・施工・製造・販売・総合建設業

【本社】
〒613-0903 京都市伏見区淀本町225
<http://www.kcon.co.jp>

【大阪営業所】
〒534-0025 大阪市都島区片町二丁目
2番48号JEL京橋ビル2階
TEL:075-631-3231
FAX:075-631-9588

コロナ禍の中での就職活動

都市環境工学科 教授 片桐 信

前年度就職副担当の福島教授が学科長に就任されたことで、急きょ4月から就職担当を拝命しました。新型コロナの影響で、6月ごろまでは、全く学生諸君の活動状況が把握できず、また企業側も採用活動が出来ないなど、混沌とした状態になりました。本来であれば、就職副担当の年次にすべての3年生と面談して、就職の希望を聞き、求人のある企業とのマッチングを行ってききましたが、学生諸君も自ら自由にエントリーして頂くこともあって、就職委員として全く機能出来ませんでした。そこで、各ゼミの先生方の協力をお願いし、学生の活動状況の把握に努めてきました。

その結果、9月19日時点で、内定率が91.0%と平年並みの水準に達しました。未内定者は、公務員と教員志望者等で、彼らの結果が出れば、100%となる見込みです。現在の内定者の内訳を概略的に見ると、建設関係：34.4%、建築関係：3.3%、高速道路関係：4.9%、鉄道：4.9%、メーカー：4.9%、コンサルタント：19.7%、公務員：8.2%、大学院内進学：13.1%、その他企業：6.6%となっています。本年度は大学院進学者が多いのが特徴的です。また、コンサルタント会社も人気で、公務員希望者も多い状況でありました。大学院では、6名中鉄道が3名、コンサルタントが2名、建築関係が1名の内定状況です。

学生諸君の旺盛な就職活動によって、上記のような良好な結果となっておりますが、次年度以降、新型コロナの感染率がどのように変化していくのかわからない状況です。また、学生諸君は自由にエントリーしてくるのが昨今の状態で、以前のように求人のある企業と学生をマッチングすることも少なくなっております。就職担当としては、3年生に対して業界説明などを行って、ゼネコン、コンサルタント、公務員、メーカー、道路、鉄道などの各種業界の概要を理解してもらい、自身の将来像を明確にして貰うことが重要だと思えます。

次世代へ、いつまでも変わらぬ思い。



「線路」、「土木」、「建築」の3部門が力を集結し、社会を支えるプロジェクトを遂行しています。卒業生34名在籍

〒532-8532 大阪市淀川区西中島3丁目9番15号 <http://www.daitetsu.co.jp/>

DAITETSU 大鉄工業株式会社

JR西日本グループ

「助かる命をむだにしない」

自然災害調査、地盤調査、各種構造物施設点検
全国各地での地盤防災についての講演
地盤防災士の育成、防災教育の普及と啓蒙活動

地盤を学び災害から身を守る技術を提供します

一般社団法人 地盤診断機構

代表理事 田中 昌明(昭和48年卒)
大阪事務局(株式会社コスモテック内)
〒540-0026 大阪市中央区内本町2-4-10-703
TEL:06-6942-0808 FAX:06-6942-0909
E-mail: info@jsk-jiban.com URL: <http://www.jsk-jiban.com>

地盤防災ジャパン

創造力と総合力でお客様のニーズにお応えします

CFKは社会の様々な要請に応えるべく、健全な企業経営のもと優秀な技術者が大いに活躍できる場を確保し、技術力の研鑽とともに、人材育成や働きやすい職場環境づくりに力を注いでいます。

<http://www.cfk.co.jp/>

CFK 中央復建コンサルタンツ株式会社
Since 1946

【本社】
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-11-10
TEL:06-6160-1121 FAX:06-6160-1127

【東京本社】
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-10-13
TEL:03-3511-2001 FAX:03-3511-2031

2020年4月(株)住軽日軽エンジニアリングより社名を変更しました。

美しいまちとあなたのアル未来



日軽エンジニアリング株式会社

本社 / 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-35-13 新永ビル TEL.03-5628-8510
大阪支店 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-5-18 朝日生命道修町ビル TEL.06-6223-3561
<http://www.sne.co.jp/>

私の近況報告

摂南大学 名誉教授 澤井 健二



6年前に摂南大学を退職後、立命館大学の非常勤講師として、週1回、水理学や河川工学の講義を受け持っていました。それも昨年度で終わりました。しかし、淀川愛好会をはじめとする市民活動はむしろ増える傾向で、2014年には新たに「水辺に学ぶネットワーク」を設立し、元の勤務先であった京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーを活動拠点に、「巨椋池流域模型ビオトーププロジェクト」に取り組んでいます。

巨椋池は、かつて京都市伏見区南部、宇治市、久御山町にまたがって存在した巨大な池で、豊かな生態系をはぐくむとともに、淀川水系の遊水地としての機能を有していましたが、1941年に干拓によって姿を消しました。ところが1953年9月、台風13号に伴う豪雨によって宇治川の左岸堤防が

決壊し、1カ月にわたって干拓地全域が浸水するという大水害が発生しました。その後1964年に宇治川上流に天ヶ瀬ダムが建設され、堤防の強化や河床の掘削とも相まって治水安全度が向上しましたが、全国における近年の相次ぐ豪雨災害の発生状況を見ますと、決して安心はできません。

特に昨年の台風19号による、東日本における140箇所にも及ぶ河川堤防の決壊には大変驚くとともに、心を痛めています。せめて人命だけでも守られればと思いますが、それには適切な土地利用と避難行動の推進が不可欠であると考え、この度「日本水防災普及センター」を設立しました。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

常盤工業株式会社

日本の道を愛して

和と情をつなごう。日本の心。 (tokiwa.co.jp)

【本社】 〒102-8182 東京都千代田区九段北4-2-38 TEL:03-3262-9181 FAX:03-3262-9200	【大阪支店】 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-3-27 TEL:06-6942-1507 FAX:06-6942-1500
-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

高度な技術力と豊かな経験を、次世代の技術者に継承します。

鉄道・道路構造物の設計および各種土木構造物の維持管理
土木構造物の専門技術者集団

中央復建デザインプラス株式会社 Since 2017

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-11-10
TEL 06-6160-1135 www.cfkdpc.com

cfkdp 検索 DESIGN PLUS

NAWAKENSETSU CO.,LTD.

～ 設計から施工までお任せください。～

総合建設業・一級建築士事務所
奈和建設株式会社

本社	〒648-0037 和歌山県橋本市賢堂1114-1 TEL 0736-32-3733 FAX 0736-33-3217
和歌山支店	〒641-0014 和歌山県和歌山市毛見1508 TEL 073-488-3667 FAX 073-488-3668

N A W A Group

株式会社イスイエコシステム
和歌山県橋本市神野々40-3

株式会社N A W A
和歌山県海南市下津町方246

株式会社志進商事
和歌山県橋本市賢堂1114-3

ISO 9001 認証取得
ISO 14001 認証取得

思いを新たに

創業者・浅野総一郎は
“人間の目的は「死んだ後まで社会を益すること」を志すにある”
という言葉を残しました。

私たちは創業の志を忘れることなく、
未来に向かって歩んでまいります。

東亜建設工業
TOA CORPORATION

〒163-1031 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー www.toa-const.co.jp

私の仕事

朝日航洋株式会社

小野 裕基（撰大平成28年卒、撰大修士平成30年終了）



私は、平成30年3月に撰南大学大学院を卒業し、同年4月より朝日航洋株式会社に入社してから3年目を迎えました。朝日航洋株式会社は、ヘリコプターを中心とした航空事業と、自治体を顧客とした地図の作成や、固定資産・施設・防災に関するコンサルティングを行う空間情報事業という2つの事業より成り立っております。私は入社より空間情報事業における資産情報部という固定資産税に関わる部署でリモートセンシング技術やGIS等の空間情報技術を活用した課税客体調査や土地評価コンサルティングにより、行政が納税者への説明責任を果たせるように課税事務を支援する業務に携わっております。「固定資産税」に関わると聞いて具体的な業務内容が思い浮かばない方も中にはいらっしゃるかと思います。実際、入社してから聞き覚えのない単語が飛び交い、学生の頃に学んでいた土木とは少し離れた分野ですが、業務の内容によってGISを活用する機会も多く、研究室で培ってきた処理能力を微力ながら発揮できているのではないかと自負しております。一方で、お客様への提案力やコンサルティングを行うには専門知識が必要とされることから、資格の勉強や日々の業務の中で経験豊富な上司や先輩から知識や技術を学んでいきたい所存です。

私は今の仕事に対して、固定資産税に影響する仕事という観点から責任感を重く感じつつも、お客様や市民の方々の役に立つものを残すことに達成感を感じています。さらに、求められている以上の提案や提出した物事に対して、お客様から笑顔で「ありがとう」と言っていただけのことから私にとっての活力であり、私の仕事についてのやりがいがあります。まだまだ経験・勉強していかねばならないことが山積みではありますが、社内・社外問わず沢山の方から信頼され、お客様に対してより良いサービスや提案を行えるような技術者へと成長できるように、今後も不撓不屈の精神で精進していきたいと思っております。

河川・道路の魅力

国土交通省 近畿地方整備局 企画部

南部 佳奈（撰大平成28年卒）



毎年、大雨による水害が各地で発生している中、河川の周辺状況を徒歩で確認したり、土砂災害の危険がある道路の通行止めを行ったり、現場に急行しています。水害が起こる度に、人を助けるため堤防の整備といったソフト対策よりもハード対策を強いられ、川と人との距離が遠ざかっていることに少しさみしい気持ちがあります。さみしいと言っていますが、実は、大学に入る前、地球環境について学びたい一心で、縁があった都市環境工学科に入社しました。入学後、所属学科は土木という分野だとわかり、公共構造物の設計にかかる基礎知識等を学んだり、川でEポートを漕いだりする中で、考えていた分野と違いましたが、自分がつくったものを実際に多くの人が利用して、人のためになり、川で遊べる環境を守ること、地図に残る場所に魅力を感じ、4年間、河川の魅力に触れながら過ごしていました。それから早5年、以前は大学で学んでいた「河川」を守りたい一心で職場を希望していましたが、河川・道路の職場を転々とする中で、道路整備に対しても、興味を持ちながら過ごしています。

河川は今の環境をどう守っていくか。大きく姿を変えることはできません。一方で、道路は、新しい道をつくることで、物流を支え、地域と地域を結び役割があります。便利になることに加えて、災害に強く、地域間をつなぐ、いのちのまちをつくる。一歩として開催した「着工式」に立ち会う機会もありました。人のためになにかすることができないかと思っていた私にとって、とても大きな経験になりました。そんな、河川・道路、どちらも選びたいが選べない気持ちがあるどこかできかされていたのか、現在は河川・道路等の区別がない、全体の基準をつくる職場に所属しています。

最後に、私と同じように環境分野に魅了され、河川を守り、道路を繋げて、いのちのまちを整備するといった土木に魅了される女子が増えると嬉しいですね。

不動テトラで学んだこと

株式会社 不動テトラ

清水 義之（撰大平成29年卒）



私は、平成29年3月に撰南大学を卒業し、同年4月に（株）不動テトラに入社しました。入社から4年目になり、多少なりとも経験を積むことができたので紹介をさせていただきます。弊社は土木事業部・地盤事業部・ブロック環境事業部があり、私は土木事業部に所属し、トンネル工事、建築工事、高速道路工事を経験してきました。現在は処分場工事の現場で現場代理人として統括と設計、測量の業務に携わっております。

私は、信頼関係と責任感という社会人として重要な要素について、人との関りが多いゼネコンで早いうちから実感することができました。

1つ目の信頼関係では、現場監督という立場上、入社1年目から現場の作業員を取りまとめるという責任重大な仕事であることを学ばされました。特に配属された現場は弊社で最も作業員を抱える大現場であったため、新入社員時代は右も左も理解していない中で作業内容や工程の打合せすることができず、作業員や先輩方に迷惑をかけてしまい仕事をやり遂げることができなかった不安な日々を繰り返していました。また、最初の頃は私が任された業者ともコミュニケーションがうまくとれず、信頼関係を結ぶのに大変苦労しました。しかし、毎日夢中で仕事に取り組んでいると、段々と現場での動き方や業者の人となりや理解できるようになり、作業員からも信頼されていく自分に気づきました。

2つ目の責任感では、設計された構造物を自分の指示のもと施工することから学ぶことが出来ました。大学時代、実習や座学で測量の経験は積んでいたものの設計図面を読み解き、それをトンボや丁張で重機オペレーターや作業員に伝えなければならず、自分の指示が間違っていると何十万円もお金が一瞬で飛んでしまうことに恐怖を覚えました。このことから自分の行動を常に見直し、責任を持った行動を心がけるようになりました。

弊社のようなゼネコンでは、新入社員からこのような経験を積むことができる他の業界にはない魅力の1つです。撰大生の皆様も興味があればゼネコンに就職してみたいか、いかがでしょうか。撰大卒業生の方々にお会いできるのを楽しみにしております。

同窓会報告

澤井ゼミ・ミニ同窓会

小川 芳也 (撰大平成14年卒業、撰大修士平成16年終了、撰大博士平成24年終了)

去る令和元年12月29日(日)に澤井先生の活動拠点である京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーにてミニ同窓会を開催いたしました。

当日は、澤井先生ならびに卒業生5名とのお子さん4人と合計10名の方にご参加いただきました。

澤井先生が現在取り組まれている「巨椋池遊水地構想」や近年頻発している水害による被害をどうすれば減少させることができるかについての話題、参加者の近況や子育てなどの多岐にわたる話題について大変に盛り上がり楽しい時間を過ごすことができました。

来年も再開することを約束してミニ同窓会を閉会しました。COVID-19がいつまで続くのか分かりませんが年末に開催を予定しております。お時間のある方はご参加いただきますよう宜しくお願いいたします。



2期生同窓会

石橋 源三 (撰大昭和55年卒業)

昨年11月3日に開催されました撰南大学校友会の設立40周年の総会、講演会、懇親会に出席しました。その際、一昨年から開催していなかった2期生が中心の同窓会を校友会の総会に重ねて開催しました。当日は太閤園の3階ダイヤモンドホールに2期生が中心で18名の出席者が集まりました。撰南大学校友会南河内地区ブロック長の福永和仁「土木8期生」さんの手配で上座の2テーブルを取っていただきました。恩師の出席はありませんでしたが、2期生の同窓会のご報告とさせていただきます。

未来を見据え このまちをささえる

総合建設コンサルタント



株式会社 日本インシーク



ISO27001認証機関・情報システム部門
ISO55001認証機関・下水道・道路・橋梁・河川砂防部門

■大阪本社
〒541-0054 大阪市中央区南本町3-6-14
TEL.06-6282-0310 FAX.06-6282-0311

■東京本社
〒104-0033 東京都中央区新川1-23-4
TEL.03-5641-2181 FAX.03-5641-2187

■神戸支社 ■奈良支社

<https://www.insiek.co.jp/>

株式会社
日照技術コンサルタント

建設コンサルタント
道路、河川・砂防及び海岸・海洋
都市計画及び地方計画
下水道、施工管理、発注者支援
測量

測量全般、鉄道測量 (JR)

代表取締役 市原 久照 (高専52年卒)

〒611-0041 京都府宇治市槇島町月夜3番地の2
TEL 0774-22-7137 FAX 0774-22-4966

E-mail:nissho-soumu@cyber.ocn.ne.jp

<http://nissho-engineer.co.jp>

支店、営業所：大阪支店・城陽支店・南丹営業所

事務スタッフ紹介

昨年、10月末より都市環境工学科準備室で勤務しております。



上田 加恵

私にも、就職活動中の息子と1年生になった息子がいます。いつもと違

う状況で頑張る子どもを見守る日々です。新学期開始からは初めてで、今年度はさらにコロナウイルス感染症のためオンライン授業になり、わからないことばかりでしたが、やっと慣れてきたような気がします。

まだまだ分からないことばかりですが周りの方々に迷惑をかけない様に頑張ります。

どうぞ、よろしくお願いたします。

技術士会だより

会長 木下 幸佐(摂大昭和57年卒)

技術士会は、平成14年2月の発足以来19年目を迎えました。摂南大学卒業生で技術士・技術士補及び修習技術者の方を正会員とし、在校生で技術士第一次試験合格者あるいはJABEE課程修了者を準会員として構成し、会員数も75名(内技術士51名)となりました。

技術士会では毎年総会を実施し、その折りには特別講演会を開催して技術の研鑽に勤しんでおります。また年2回の会員相互の親睦会や、在学生に対する技術士第一次試験受験セミナーの開催を行っております。しかしながら、今年は未曾有のコロナ禍により、総会を含め活動自粛を余儀なくされております。皆様方におかれましては公私にわたり活動を制限されている事と存じますが、十分に注意を払って国難を乗り切りましょう。

技術士・技術士補・修習技術者の方は是非、技術士会のHPより入会をお願いします。会員相互の連携と親睦をはかり、微力ながら母校の発展に尽力しましょう。

昨年7月以降に寄付いただいた方を今号にてご紹介いたします。

(令和2年9月現在 敬称略・順不同)

田中	荒瀬	金子	た	足立	目良	井上	龍田	西村	西川	大島	篠原	西川	加藤	橋本	高石	吉田	日下	奥田	齊藤	古澤	内田	別所	安永
(昭和42年卒)	(昭和45年卒)	(昭和44年卒)	(平成18年卒)	(昭和50年卒)	(昭和47年卒)	(昭和42年卒)	(昭和58年卒)	(昭和48年卒)	(昭和62年卒)	(昭和48年卒)	(昭和49年卒)	(昭和54年卒)	(昭和54年卒)	(昭和42年卒)	(昭和51年卒)	(昭和48年卒)	(昭和46年卒)	(昭和56年卒)	(昭和50年卒)	(平成19年卒)	(昭和49年卒)	(昭和58年卒)	(昭和58年卒)
久明	敏夫	美喜	建設	博成	敏夫	英夫	圭亮	昌明	正道	朝彦	正樹	嘉明	高雄	和夫	梯造	清賢	隆之	日出	藤昭	明久	啓太	友宏	昭司

第40号会報に関して寄せられたご感想の一部を紹介します。

- * 良く出来ていると思います
- * 今後共、よろしくお願い致します
- * 地球にやさしい土木技術の発展を祈念致しております
- * 色々な情報は大変わかりやすくよいです。(井上先生、大変ご無沙汰しております)
- * 楽しく愛読しております
- * 毎回届くたびに楽しく拝見させて頂いています
- * 楽しみにしています
- * また機会ありましたら会報にて報告させていただきます!

- * 学校卒業して、なつかしく思います。がんばって下さい
- * 制作お疲れ様です。いつも楽しみにしています。引き続きがんばって下さい
- * 毎回楽しく読んでいます
- * 健康寿命の記事を見て、私も実行しようと思いました
- * 私もいま一度、ドクターで都市工学を学びたいなりました
- * 先生方・卒業生・現役生の活躍ぶりや近況がよくわかる内容で有り難いです

HC 21世紀をグローバルに拓く

株式会社 **花村コンサルタント**

業者登録

- ・ 建設コンサルタント業 第8662号
- ・ 地質調査業 第1760号
- ・ 測量業 第14744号
- ・ 土壌汚染指定調査機関 環2003-2-30

代表取締役 **花村 浩司** (高専C昭和47年卒)

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦9-8
TEL (0774) 21-5067 FAX (0774) 21-5068

大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三314
TEL (06) 6764-7438 FAX (06) 6764-7439

The great power of water

日進機工株式会社

NISSIN KIKO

<ウォータージェット工法のパイオニア>

日進機工は、自研独自の生産設備・インフラを最適な状態で維持・管理、していく事で、お客様の事業を円滑に推進し、水害・水害防止に貢献する企業です。あらゆる産業メンテナンスに精通する統合した、常に最先端を目指し、最新鋭のウォータージェット工法の専門技術を駆使し、お客様のあらゆる土木・土木設備のあらゆる課題を全力で解決いたします。

お客様が困ったとき必ず力になれる会社、それが「日進機工」です。

本社 〒463-0802 愛知県名古屋市中区栄町2丁目40番地
TEL 052-739-2771 / FAX 052-739-2671
株主 (日本水産建設機械協会 中部支部 支部長)

代表者 藤原 隆夫 (取締役 代表取締役)

営業所 東京支店・大阪支店・九州支店・東海支店・東北支店 他

URL: <http://www.nissin-kiko.com/>

<事業内容: 土木関連工事>
コンクリート工事、トンネル天吊補修工事、高圧送電線架設補修工事、高圧送電線架設補修工事、その他多岐の業務 (詳細にて事業説明あり)



テーマ「大学で挑戦したいこと」

大学生活の中で、私達はこんなことを考えています!

文武両道

2年生 田中仁



私が大学で挑戦したいことは「文武両道」です。理由は、中学、高校と文武両道に挑戦していましたがうまくいかなかったため、大学では今度こそこの挑戦が成功できるようにうまく両立したいと思っています。勉強の方では、単位を落とさないように日々の予習復習を大事にし、いい成績が取れるように頑張りたいです。また、専門科目である土木の資格取得やTOEICや英検などの試験に挑戦したいと思っています。機会があれば、留学にも挑戦してみたいと思っています。部活は空手部に所属しています。部活の方では、試合でいい結果を残せるように日々の練習にメリハリをつけてやっていきたいと思っています。卒業時に文武両道が達成できるようにこれから頑張りたいと思います。

専門的な知識の勉強と課外活動への参加

1年生 ソシン



旅行が大好きな私にとって、夢といえば、一番は環境破壊と汚染問題が深刻化している状況を改善したいことです。環境に対して、水汚染や大気汚染などが少しずつでもきれいになれば、人間はより快適な生活を送ることができるようになり、どこへ旅行に行っても、美しい景色を楽しむことができ、人間の理想通りに変わっていきます。大学で、より豊富なことを学び、多くの人を知り、筋道をわかるようになるため、専門的な知識を勉強しながら、課外活動にも参加して、より多くの社会現状を認識し、今後の努力する方向も分かるようになります。その中で、ボランティアをすることが有効な方法と思い、時間があれば気に入った活動に参加することに挑戦したいです。環境問題を解決すること以外に、先生になり、子供に知識を教えてから付き合うこともしたいです。そして、大学で教師になるため、教員免許資格を取得することが目標です。平日は基礎的な知識を勉強するだけでなく、多くの先生の授業で様々な教え方や学生に対する方法も学べます。また、時間があれば、塾などでアルバイトをやってみて、実践から良い先生になる方法を勉強したいと考えています。

土木業界の最前線で活躍するために

4年生 森本 好太



私は大学で挑戦したいことは二つあります。一つ目は大学での研究活動で成果を残すことです。私は現在4年生で、今後は摂南大学大学院の修士課程に進学する予定です。その修士期間も含め研究成果を残し、少しでも多くの人にプラスになることをしたいです。またここで結果を出すことは自分の成長の場となり、企業に就職した際や新たな挑戦する際に自信を持って行動できると思います。二つ目は大学外での活動にも果敢に参加することです。大学3年生までは大学外でのインターンシップや現場見学会にあまり参加せず、大学内の講義を中心に勉学に励んでいました。これから土木職として社会人になる上で、座学では学べないリアルな現場について知る必要があります。そのために積極的に参加し、縦のつながり(企業の方や大学の先生など)を意識してコミュニケーションをとっていきます。そして土木業界で活躍できる人材になれるようにコツコツと努力していきます。

文化・環境問題に沿ったまちづくりを学びたい

3年生 床井 晴香



私は、これからまちづくりを専門とした技術者になりたいと考えています。私は、2000年も前にイタリア古代都市ポンペイでは上下水道が普及していたという事実を知り、大変衝撃的でその計画的なまちづくりの知恵と技術に深く感銘を受けたことからまちづくりに興味を持ちました。そのまちづくりに携わることでまちが抱える問題を解決し、人々の暮らしを快適にしたいと考えています。また、機会があれば残りの大学生のうちに、世界各地を旅し自分の目で各国の風土や文化・環境問題に沿ったまちづくりの現在と歴史を観て学びたいと思います。そして、私がまちづくりの仕事に携われた際には、これらの経験を活かして多種多様な人や環境に適したまちづくりの一端を担いたいと思います。

編集後記

このページは、私たち大学院生が企画し作成したものです。ここでは、先生方やOB・OGだけでなく学生や皆様のご家族にも親しみももて、学科の在学生がどのように取り組んでいるかがわかるような会誌にしたいと考え、学生自身の考えや意見を主に掲載しています。現在、本学科には293名の学生が在籍しています。摂南大学土木会の歴史は半世紀を超え、その中で、学生の考え方も変わってきていることと思います。

そこで、学生がどんな考えを持って自分の未来を思っているのか、この4年の間にどんなことに挑戦したいのかを皆様に知ってもらいたく、今回のテーマを「大学で挑戦したいこと」としました。自分のためになる、そして自分の将来のために、目標をもって積極的に取り組んでいるように感じました。

最後に、このページの作成にご協力くださった先生方やアンケートに答えてくださった学生の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



編集委員 M1
右から森川 哲至、岡部 将也、大本 匠